整理番号		製品名	TRUSCO GPトップシリコンカーバイト(TGP10015-CC 80#)
作成改訂日		会社名	トラスコ中山株式会社

製品安全データシート(MSDS)

1 化学品及び会社情報

製品の名称 : TRUSCO GPトップシリコンカーバイト 外径１００Φ羽根１６．５mm5枚入 ８０＃
製品の品番 : TGP１００１５－CC ８０＃
整理番号 :
推奨用途、特長 : ガラス、石材等の研磨
会社名 : トラスコ中山株式会社
住所 : 〒550-0013 大阪市西区新町1－34－15
担当部門 : 商品本部 ＰＢ品質保証課
発行連絡先 : お客様相談室宛
電話 : 0120-509-849
FAX : 06-6543-0941

2 危険有害性の要約 化学物質としての情報

GHS分類
皮膚腐食性／刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分2A
発がん性 : 区分1B
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露） : 区分1 （呼吸器系）
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露） : 区分1 （肺）

記載のないものは区分外、分類対象外または分類できない。

GHSラベル要素
シンボル
絵表示




注意喚起語 警告 危険
危険有害性情報
コード(H)
H315 : 皮膚刺激
H319 : 強い眼刺激
H350 : 発がんのおそれ
H370 : 臓器（呼吸器系）の障害
H372 : 長期または反復暴露による臓器（肺）の障害
注意書き
【安全対策】
コード(P)
P201 : 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 : すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P281 : 指定された個人用保護具を使用すること。
P260 : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P264 : 取扱い後は手・皮膚を良く洗うこと。

P270 : この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
P280 : 保護手袋･保護眼鏡、保護面を着用すること。
【救急処置】
コード(P)
P302+352 : 皮膚についた場合:多量の水と石鹸で洗うこと。
P332+313 : 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
P305+351+338 : 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337+313 : 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
P362 : 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
P308+313 : 暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断、手当てを受けること。
P307+311 : 暴露した場合:医師に連絡すること。
P314 : 気分が悪い時は、医師に診断、手当てを受けること。
【保管】
コード(P)
P405 : 施錠して保管すること。
【廃棄】
コード(P)
P501 : 内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄処理を行うこと。
【危険性】 : 危険性は極めて低い。
【有害性】 : 研磨作業中に発生する粉塵は眼、皮膚を刺激することがある。
: 研磨作業中に発生する粉じんを吸入すると健康障害を起こすことがある。
【環境影響】 : 研磨作業中に粉じんが発生するので作業環境を汚染する恐れがある。
注意書き
【安全対策】 : 研磨作業を行なう際には、眼及び顔面保護具、防護マスクを常に着用し、粉塵の吸入を防止するように努める。
: 粉じん対策として集塵装置を設ける。又は必要に応じて全体排気をする。
: 使用前には製品のクラック･切れ込み等を確認し、損傷がある場合は取り替える。
: 損傷した製品は使用中に砕け散り、眼や顔に重傷を及ぼすことがあり注意が必要。
: 研磨作業を行なう場合や作業付近にいる場合は、眼及び顔面保護具を常に着用する。
: 作業中に生じる粉塵及びスパークは、人体への危害並びに火災原因となり、注意する。

【破壊事故を防止するために、下記の事項を遵守してご使用ください。】
使用回転数 : 製品ラベルに表示されている、最高使用回転数(R.P.M表示)を絶対に超えないこと。
安全カバー : 装置に付いている安全カバーは必ずつけて作業してください。
異常音･振動 : 使用中に異常音や異常振動が生じた際には、直ちに停止し、点検してください。
過度の圧力 : 過度の圧力を加えた場合は、蓄熱により発火する恐れがあります。
【救急処置】
吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気の場所に移し、必要ならば医師の手当てを受ける。
皮膚への付着 : 作業後は水及び石鹸で洗い流す。
目に入った場合 : 粉じんが入った場合は清浄な流水で洗眼し、必要ならば医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませ、嘔吐させる。必要ならば医師の手当てを受ける。
【保管】
: 容器を密閉して換気の良い、涼しい場所に保管する。
【廃棄】
: 本製品を廃棄する際は、研磨された材料を考慮すること。
: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
: 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

3 組成及び成分情報

単一製品･混合物の区分 : 混合物

成分及び含有量(wt%)

物質名	化学式又は構造式	CAS №	含有量(wt%)
研磨布 炭化けい素 炭酸カルシウム 樹脂硬化物 基材(綿とポリエステルの混紡布)	 SiC $CaCO_3$ - -	 409-21-2 471-34-1 - -	49～56.9
基板 ガラス繊維 SIO2 硬化済フェノール樹脂	 - (C6H6O.CH2O)x	 - 9003-35-4	30.8～39.2
プラスチックリング:ABS樹脂	(C8H8.C4H6.C3H3N)x	9003-56-9	1.5～2
硬化済接着剤 (ビスフェノールAエポキシ樹脂)	 (C15H16O2.C3H5ClO)x	 25068-38-6	8.9～10.8

4 応急措置

吸入した場合

: 被災者を新鮮な空気の場所に移し、徴候や症状が現れた場合は、医師の手当てを受ける。
: 医師の手当、診断を受けること。
: 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

: 作業後は水及び石鹸で洗い流す。
: 医師の手当、診断を受けること。
: 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
: 水で数分間注意深く洗うこと。

目に入った場合

: 粉じんが入った場合は清浄な流水で洗眼し、必要ならば医師の手当てを受ける。
: 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
: 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

飲み込んだ場合

: 口をすすぐこと。
: 多量の水を飲ませ、嘔吐させる。必要ならば医師の手当てを受ける。

5 火災時の措置

消火剤

: 注水、水噴射、各種消火器等で消火作業を行なう。

特有の消火方法

: 特にない。
: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

: 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
: 樹脂は火災時に強い熱や濃い黒煙、二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物等を含むガスを発生させるので、消火活動時にはガスを吸引しない様に呼吸器具や防火服を着用し、風上より行なう。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項
: 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
: 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸引･粉塵の吸引を避ける。

環境に対する注意事項
: 河川等に排出され、環境へ影響を起こさない様に注意する。
: 環境中に放出してはならない。

除去方法
: 粉じんを掃き集めて密閉できる空容器に回収し、粉じんの発生や拡散を防止する。

---

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
: 空気中の粉じん濃度を暴露限界値以下に保つためには排気用の換気を行なう。
: 適切な呼吸器保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護衣、安全靴等を着用する。

注意事項
: 研磨作業中に発生する粉じんの吸入を避ける。作業後は手洗いを励行する。
: 乱暴な取扱いをすると破損の恐れがあるため注意する。

安全取扱い注意事項
: すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
: 吸入又は飲み込まないこと。
: 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
: 使用前には製品のクラック･切れ込み等を確認し、損傷がある場合は取り替える。
: 損傷した製品は使用中に砕け散り、眼や顔に重傷を及ぼすことがあり注意が必要。
: 研磨作業を行なう場合や作業付近にいる場合は、眼及び顔面保護具を常に着用する。

＜遵守事項＞　　<破壊事故を防止するために、下記の事項を遵守してご使用ください>

使用回転数
: 製品ラベルに表示されている、最高使用回転数(R.P.M表示)を絶対に超えないこと。

安全カバー装置
: 装置に付いている安全カバーは必ずつけて作業してください。

異常音･振動
: 使用中に異常音や異常振動が生じた際には、直ちに停止し、点検してください。

過度の圧力
: 過度の圧力を加えた場合は、蓄熱により発火する恐れがあります。

保管

適切な保管条件
: 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
: 容器を密閉して換気の良い、涼しい場所に保管する。

安全な容器包装材料
: 包装･容器の規制は無いが密閉式の破損しにくいものに入れる。

---

8 暴露防止及び保護措置

設備対策
: この製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
高熱工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、空気汚染物質を許容濃度以下に保つために
換気装置を設置する。
粉じん対策として集塵装置を設ける。又は必要に応じて全体排気をする。
集塵装置は発生する火花や粉じんを吸収し、火災発生の恐れがあり、直接の火花を吸収し

ない対策を講じる。硬化物の研磨を行なう際には、適切な局所排気装置を使用する。
一般的な希釈換気又は局所排気装置を使用して、蒸気やミストが作業環境中に滞留しない様に適切な換気や排気を行なう。

管理濃度

物質名	管理濃度	日本産業衛生学会	許容濃度(ACGIH)
炭化けい素 炭酸カルシウム 樹脂硬化物 基材(綿とポリエステルの混合布)	設定されていない	設定されていない	TLV-TWA 10mg/m3 (吸引性粉塵として) TLV-TWA 10mg/m3 (total dust) 設定されていない 設定されていない
ガラス繊維 SIO2) 硬化済フェノール樹脂	設定されていない	設定されていない	設定されていない
プラスチックリング:ABS樹脂	設定されていない	設定されていない	設定されていない
硬化済接着剤 (ビスフェノールAエポキシ樹脂)	設定されていない	設定されていない	設定されていない

保護具
呼吸器用の保護具
: 呼吸用保護具(防護マスク)を着用すること。
手の保護具
: 保護手袋を着用すること。
目の保護具
: 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用すること。
皮膚及び身体の保護具
: 長袖作業衣を着用すること。必要に応じて顔面用の保護具、安全靴等を着用すること。
適切な衛生対策
: この製品を使用する時は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手洗いすること。

---

9 物理的及び化学的性質

形状	:	固体
色	:	有色
臭い	:	無臭
臭いの閾値	:	-
pH	:	-
融点(°C)	:	-
凝固点(°C)	:	-
沸点・初留点及び沸騰範囲(°C)	:	-
引火点(°C)	:	-
蒸発速度	:	-
燃焼性(気体・固体)		
燃焼又は爆発範囲		
下限	:	-
上限	:	-
蒸気圧(KPa)	:	-
蒸気密度	:	-
比重(相対密度)	:	-
溶解度	:	水に不溶

n－オクタノール/水分配係数 : -
自然発火温度 : -
分解温度 : -
粘度 (粘性率) : -

---

10 安定性及び反応性

反応性
: 通常の使用条件下においては反応性は見られない。

化学的安定性
: 通常の使用条件下においては安定している。

避けるべき条件
: 強酸化剤、強酸、強塩基、酸化エチレン、硝酸ナトリウム、酢酸ビニル、
三ふっ化塩素、ふっ化酸素、過酸化水素、塩素化ゴム

危険有害な分解生成物
: 燃焼により、一酸化炭素及び二酸化炭素の発生する恐れがある。
通常の使用条件では有害な分解生成物の発生はない。
有害な分解生成物は酸化、加熱又は他の物質との反応によって発生することがある。

---

11 有害性情報　化学物質としての情報

急性毒性
(経口)
: データがなく、分類できない。　【炭化けい素】
: ラットLD50=6450mg/kgに基づき、区分外とした。　【炭酸カルシウム】

(経皮)
: データがなく、分類できない。　【炭化けい素】
: データがなく、分類できない。　【炭酸カルシウム】

(吸入:ガス)
: GHSの定義による固体であり、分類対象外。　【炭化けい素】
: GHSの定義による固体であり、分類対象外。　【炭酸カルシウム】

(吸入:蒸気)
: データがなく、分類できない。　【炭化けい素】
: データがなく、分類できない。　【炭酸カルシウム】

(吸入:粉塵、ミスト)
: データがなく、分類できない。　【炭化けい素】
: データがなく、分類できない。　【炭酸カルシウム】

皮膚腐食性･刺激性
: データがなく、分類できない。　【炭化けい素】
: ウサギ　500mg/24時間　中程から、区分2とした。　【炭酸カルシウム】
皮膚刺激　警告

眼に対する重篤な損傷･刺激性
: データがなく分類できない。　【炭化けい素】
: ウサギ　750μg/24時間　重度　から、区分2Aとした。　【炭酸カルシウム】
強い眼刺激　警告

呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器感作性
: データがなく、分類できない。　【炭化けい素】
: データがなく、分類できない。　【炭酸カルシウム】

皮膚感作性
: データがなく分類できない。　【炭化けい素】

：データがなく分類できない。 【炭酸カルシウム】

生殖細胞変異原性

：データがなく分類できない。 【炭化けい素】

：データがなく分類できない。 【炭酸カルシウム】

発がん性

： ACGIHでA2と分類されている(ACGIH(2003))ことに基づき、区分1Bとした。 【炭化けい素】
発がんのおそれ　危険

：データがなく分類できない。 【炭酸カルシウム】

生殖毒性

：データがなく分類できない。 【炭化けい素】

：データがなく分類できない。 【炭酸カルシウム】

(授乳に対するまたは授乳を介した影響)

：データがなく分類できない。 【炭化けい素】

：データがなく分類できない。 【炭酸カルシウム】

特定標的臓器･全身毒性－単回ばく露

：ラットにおいて区分1のガイダンス値範囲内の用量で、肺水腫･肺出血･間質性肺炎･細気管支崩壊･肺胞の拡張不全が見られたとの記載（ACGIH (2003)）に基づき、区分1（呼吸器系）とした。
臓器(呼吸器系)の障害　　危険 【炭化けい素】

：データがなく分類できない。 【炭酸カルシウム】

特定標的臓器･全身毒性－反復ばく露

：ヒトで塵肺症、胸部X線画像の変化、肺線維症、結節、珪肺症が見られたとの記載がある（ACGIH (2003)、HSDB (2005)）ことに基づき、区分1（肺）とした。
長期または反復暴露による臓器(肺)の障害 危険 【炭化けい素】

：データがなく分類できない。 【炭酸カルシウム】

吸引性呼吸器有害性

：データがなく分類できない。 【炭化けい素】

：データがなく分類できない。 【炭酸カルシウム】

---

12 環境影響情報

水生環境有害性（急性）

：データがなく分類できない。 【炭化けい素】

：生体に存在するイオン成分であり、水生生物への有害性は低いため、区分外とした【炭酸カルシウム】

水生環境有害性（慢性）

：データがなく分類できない。 【炭化けい素】

：急性毒性、蓄積性は低く、また、水生環境、生体内に幅広く存在するイオン成分であることから、区分外とした。 【炭酸カルシウム】

オゾン層への有害性

：データがなく分類できない。 【炭化けい素】

：データがなく分類できない。 【炭酸カルシウム】

---

13 廃棄上の注意

残余廃棄物の廃棄方法

：本製品を廃棄する際は、研磨された材料を考慮すること。
廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器･包装の廃棄方法

: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

---

１４ 輸送上の注意

国内規制

陸上輸送

: 非危険物

海上輸送

: 非危険物

航空輸送

: 非危険物

国際規制

国連番号

: 該当しない。

国連分類

: 該当しない。

容器等級

: 該当しない。

---

１５ 適用法令

【労働安全衛生法】

法57条(名称等を表示すべき有害物)

: 該当しない。

法57条の2(名称等を通知すべき有害物)

: 政令第１８条の２別表第９の３３６　対象となる範囲（重量≧0.1%）　【炭化けい素】

粉じん障害防止規則

: 特定粉じん作業

じん肺法

: 施行規則第２条別表粉じん作業

【化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 】

(2011.04.01改正化審法 第２条)

: 該当しない。

【化学物質管理促進法 (PRTR法)】

: 該当しない。

【毒物及び劇物取締法】

: 該当しない。

【消防法】

: 該当しない。

【高圧ガス保安法】

: 該当しない。

【大気汚染防止法】

: 該当しない。

【水質汚濁防止法】

: 該当しない。

【水道法】

: 該当しない。

【土壌汚染対策法】

: 該当しない。

【海洋汚染防止法】
：有害液体物質

【輸出貿易管理令】
別表第一貨物
：該当しない。
第16項の1
：該当しない。
第16項の2
：該当しない。
別表第二貨物
：該当しない。

【各種国際条約】

ストックホルム条約
(POPs条約)：該当しない。

ロッテルダム条約
(PIC条約)　：該当しない。

モントリオール議定書
：該当しない。

バーゼル条約
：該当しない。

化学兵器禁止条約
(CWC条約)：該当しない。

シップリサイクル条約
：該当しない。

16　その他の情報

製造会社名　　：株式会社ムラコ

参考文献
JIS Z 7253
NITE(独立行政法人製品評価技術基盤機構)ホームページ
中央労働災害防止協会ホームページ
その他の文献･･･原材料／製品メーカーMSDS

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。この情報は新しい情報を入手した場合、追加又は改訂されることがあります。又、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特別な取扱いをする場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。